

一般社団法人日本人間工学会第6回理事会 議事録

1. 開催日時：平成22年6月18日（金） 15：00～17：00

2. 開催場所：北海道大学 ファカルティハウス「エンレイソウ」2階大会議室

3. 出席者：

・理事会構成員(25名・定足数13名以上)

(理事)：齊藤進(理事長・学術会議・横幹連・文科省科研費)，青木和夫(副理事長・学術会議・横幹連・人間工学専門家認定機構長・文科省科研費)，阿久津正大(表彰)，大久保堯夫，垣本由紀子(財務)，岸田孝弥，斎藤真(総務)，酒井一博(横幹連・企業の人間工学教育のあり方検討委員長)，三林洋介(総務)，外山みどり(財務)，土屋和夫，富田豊，八田一利(第2期選管)，福田康明，吉武良治(広報・テレワークガイド) 【15名】

(理事兼支部長)：横山真太郎(北海道・第51回大会長)，北村正晴(東北)，堀江良典(国際・関東)，横森求(東海)，長谷川徹也(九州・沖縄) 【5名】

【計：20名】

(欠席者)：加藤象二郎(編集・横幹連)，中野義彦，平柳要，萩原啓(関西)，大塚彰(中国・四国) 【5名】

・第2期理事予定者：石田敏郎，大須賀美恵子(学術会議)，岡田明(財務)，小谷賢太郎，小松原明哲(編集・子供の人間工学委員長)

・第2期理事予定者兼支部長：村田厚生(中国・四国)

・第2期監事予定者：大内啓子(広報・総務幹事)

・ワグナーバー：藤田祐志(人間工学技術戦略委員長)，横井孝志(ISO/TC159国内対策委員長・人間工学研究ガイドライン検討委員長)，榎原毅(ニーズ対応型人間工学展開委員長)，河合隆史(第52回大会長)

・事務局：栗田紀子，青木彩

4. 議事概要

理事20名が出席し、定款第37条により理事会が成立していることを確認した。理事長が定款第36条に従い議長となり、議事を進めた。なお、理事現在数は25名であり、理事会が成立する定足数は13名である。

開催に先立ち、第51回大会の横山大会長より挨拶が行われた。

また、本理事会は第1期理事にとって最終の理事会となる旨、議長より説明があった。

なお、議長より本理事会の議事録署名人として、三林洋介理事が指名され、諮ったところ全員異議なく了承され承認された。

【審議事項】

(1)第1号議案 一般社団法人日本人間工学会第5回理事会議事録(案)について

第5回議事録について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

(2)第2号議案 平成22年定時社員総会資料(案)について

(2-1)平成21年度事業報告(案)

第1期総務理事より、事業報告案について提案があった。本件について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

(2-2)平成21年度収支決算(案)

第1期財務理事より、収支決算案について提案があった。本件について議長より諮ったところ、

全員異議無く了承され、承認された。また、本決算書について監事 2 名による監査意見書を総会資料に示している旨議長より報告があった。

(2-3)平成 22 年度事業計画(案)

第 2 期予定の総務理事より、事業計画案について提案があった。本件について議長より諮ったところ、全員意義なく了承され、承認された。

なお、本年度の委員会構成について、昨年まで行われていた支部部会長会議が本年から無くなった理由を教えて欲しいとの意見が出された。本意見に対し、支部部会長会議を本年度行わなかった一番の理由は時間的な制約であり、支部部会の件については今後も逐次対応をしていく旨、議長より説明がなされた。

(2-4)平成 22 年度収支予算(案)

第 2 期予定の財務理事より、収支予算案について提案があった。本件について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

(3)第 3 号議案 その他

新たな議案の提出は無かった。

(4)第 4 号議案 協賛等の依頼について

8 件の協賛等の依頼について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

【報告事項】

(1)総務報告

(1-1)会勢報告

会員数は 2010 年 5 月 31 日現在 1874 名 (+14 名)、賛助会員数 35 社 36 口 (-2 社、-2 口)。

(2)財務報告

2010 年 5 月 31 日実績について、収入・支出ともに、予算額に対してほぼ通常通り、順調に推移している旨、財務担当理事より報告があった。

なお、収入に関連して、「研究部会等が出版した書籍等の印税は、学会本部の収入になっている。提供してくれている研究部会に対して、フィードバックが必要なのではないか」との意見が出された。本件について諮ったところ、フィードバックをしていく方向で、全員異議なく了承し、承認された。

(3)第 51 回大会準備状況

準備は順調であると大会長より報告された。なお、懇親会時には、名誉会員の方々ならびに IEA 会長 Andrew Imada 氏にもご参加いただく旨、議長より紹介された。

(4)第 52 回大会準備状況

第 52 回大会長より、準備状況について報告を行った。開催日は 2011 年 6 月 6 日(月)と 7 日(火)の 2 日間で、会場は早稲田大学国際会議場。

なお、大会開催日に関して、平日開催は大学関係者には参加が難しい場合が多い。しかし、企業の方々にとっては平日開催の方が参加しやすいということもある。学会として、大会をどのように運営していくかを検討していく必要があるのではないかとの意見が出された。

本件については、将来計画委員会により「大会は平日に行うこと」という提言が 1 昨年に出されている。その意図は、土日に出勤を強いるのは難しいということである。理事会としては、53 回大会に向けて、どのような方向性で整理していくかを検討することとなった。

(5)担当・委員会報告

(5-1)広報委員会

- ・ HP リニューアルの 1st stage が 5/17 にオープンした。
 - ・ 人間工学会入会案内のリーフレットを作成した。リーフレットは本大会参加者に配布。
 - ・ 本大会における記念講演等のビデオ撮影を行う。本ビデオは HP 上に公開予定。
- 以上 3 点の報告があった。

(5-2)編集委員会

21 年度における学会誌は 39 編を採択し、採択率 62.9%で学会誌を発行。J-STAGE も第 1 巻からアーカイブに掲載が完了した旨報告があった。

(5-3)国際協力委員会

- ・ ESK/JES joint Symposium2010 が 5/14～15 に、韓国・大田で開催。本シンポジウムにおいて、堀江委員長が ESK より日韓交流に対し表彰された旨報告があった。
- ・ 大島名誉会長ご逝去に際し、海外からも弔意を表したメールが多数送られてきている旨報告があった。

また、副理事長より「大島先生のお別れの会」について、7 月 11 日(日)に東海大学交友会館にて行われる旨、紹介があった。

(5-4)ニーズ対応型人間工学展開委員会

- ・ HP リニューアルを 3 期に分けて実施する。現在、2nd stage 公開に向けて取り組んでいる。
- ・ 各支部の HP を JES HP の中で利用できるように整備を進めている。準備が出来次第、順次報告する。

以上、2 点について報告があった。

(5-5)ISO/TC159 国内対策委員会

アクセシブルデザイン規格を推進するための WG において、アクセシブルデザインを規格に盛り込む、あるいはデザインに盛り込むためのプロセス規格を考案中。EQUID 関連規格も盛り込むことを検討しており、HQL と連携しながら進める旨、報告があった。

また、JISZ8907の改訂版原案を審議中であり、12月に完了予定。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道

支部総会を6月20日に実施。工業試験場の吉成氏が大会長で支部大会を行う。

(6-2) 東北支部

8月21日と9月12日に支部研究会を実施する。東北支部の支部活性に向けて活発に活動中である旨、報告があった。

(6-3) 関東支部

支部第40回大会を12月4日、5日に東海大学・西口氏が大会長で行う。

(6-4) 東海支部

支部研究大会を10月30日に名古屋工業大学で実施する。

(6-5) 関西支部

支部大会を12月4日、5日に大阪工業大学で実施する。

(6-6) 中国・四国支部

年3回程度の支部会を行う。支部第43回大会を10月30日に広島大学医学部で宇土博氏（広島文教女子大）が大会長で行う。

(6-7) 九州・沖縄支部

第31回支部大会を12月11日に行う。

(7) その他

・人類動態学会40周年記念国際シンポジウム（JESの協賛）を6月11日から13日に開催し、延べ300名以上の参加者を得た。IEA会長Andrew Imada氏にも参加いただき、大盛況であった旨報告があった。

・表彰委員会より、明日の総会において、功労賞の表彰式を行う旨報告があった。功労賞24名の内、12名が出席。

(8) 今後の理事会日程(予定)について

・第7回理事会を2010年6月19日(土)に北海道大学学術交流会館・第4会議室で開催。

・定時理事会については、定款で年4回程度開催するとあるため、第8回理事会を10月、第9回を2月、第10回を5月に予定。第11回理事会は大会時に開催する。なお、定時理事会以外に、メールでの審議や臨時理事会を想定し、基本的には年4回の定時理事会とする。

・公開講座の開催日については、10月に開催予定の理事会日に実施することを検討中。テーマ等を募集する旨、要請があった。

5.閉会

以上の議事を終え、17時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成22年6月18日

議 長 齊 藤 進 ⑩

議事録署名人 三 林 洋 介 ⑩